行事等報告

第30回 世界牛病学会2018 札幌 開催される

平成30年8月28日(火)～9月1日(土)の5日間，札幌コンベンションセンターにおいて，第30回世界牛病学会2018札幌組織委員会及び日本獣医師会獣医学術分野別学会日本産業動物獣医学会の主催により第30回世界牛病学会2018札幌が盛大に開催された．

世界牛病学会（World Association for Buiatrics）は1962年ウィーン（オーストリア）で開催された第2回牛病国際学会で設立された学会であり，現在世界の約50カ国が加盟している．本学会の学術大会は1960年から2年毎に世界各地で開催されてきたが，これまで欧州，北米，南米などが開催地であり，今回の日本（札幌）での大会がアジア初の開催である（開催までの経緯は，本誌第67巻第12号890～892頁「行事等報告：第28回世界牛病学会の概要と第30回世界牛病学会（2018年）日本招致決定の報告」を参照）．

本会からは藏内会長，組織委員会顧問である酒井副会長，境専務理事，農場管理獣医師協会会長でもある北村顧問，大会副会長・組織委員会副委員長である佐藤　繁日本産業動物獣医学会長が出席した．

28日，夕刻から開会式が行われ，田島誉士大会長・組織委員長(酪農学園大学教授)，藏内勇夫会長，Emile Bouchard世界牛病学会長（モントリオール大学獣医学部副学部長・教授）が順次登壇し，挨拶を行った（図1～4，藏内会長挨拶は別記参照）．次に，グスタフ・ローゼンバーグ記念財団による奨学金授与式に続き，書道，和太鼓の実演が行われ（図5，6），日本の文化を披露しつつ盛大に開会式が終了した．その後，企業展示会場内でウエルカム・レセプションが行われ（図7），各企業ブースにおいても日本酒等が提供されたほか，会場の外では日本の盆踊りを模した装飾がなされ，その周りの屋台では北海道の食材を使用した軽食が提供された．

翌29日以降，各会場において，繁殖，乳房衛生，薬剤耐性菌，免疫，蹄病，疫学，ハードヘルス，中小反芻動物，感染症，牛の福祉と快適性等の基調講演（図8），一般口演，ワークショップ等が開催され，各会場では多くの参加者が熱心に聴講した．

そのうち30日には，ワークショップ「産業動物界で女性獣医師の力を最大限に発揮するにはどうしたらよいか」が開催され，Bouchard会長（図9）から世界女性獣医師の誕生，カナダ及び欧米主要諸国における性別構成や職場環境の課題について，次に宮崎大学医学部の谷千賀子先生から日本における産業動物に従事する女性獣医師の職場環境，自身が会長を務める畜ガールズが産業動物関係業務従事者に実施したアンケートによる職場及び家庭での満足度等についての調査結果が報告された．その後，参加者が質問に対してYES，NOと書かれた団扇を掲げる参加型セッションが行われ，会場が一体となって職場環境の向上に決意を新たにした．その他，ワークショップでは「東日本震災と福島第一原発事故後の警戒区域内の被災動物(牛)―調査結果と教訓」等も開催され，海外からの参加者の注目を集めた．

31日には，ガラディナーが開催され，佐藤副大会長の挨拶（図10）の後，小中学生によるジャズの演奏，よさこいソーラン節の演舞が行われ，参加者は和洋の演奏とともに地元北海道の食材を堪能した．

なお，本会で取り組んでいるアジア地域臨床獣医師等総合研修事業で来日中の研修生2名（図11）が参加し，また昨年度の研修生1名（図12）も参加しており，会場で思わぬ再会を果たすことができた．

最終日9月1日に閉会式が行われ，66カ国約2,000名の参加者を得て，本大会は盛大のうちに終了した．

図1　田島大会長　挨拶

図2　藏内会長　挨拶

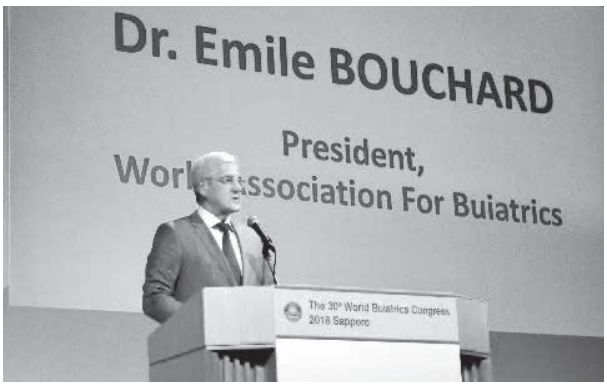

図３　Bouchard 会長　挨拶

図４　左から，Bouchard 会長，藏内会長，田島大会長

図５　書道家によるパフォーマンス．「尊」「命」の２字が大書され，翌日から会場に掲示された

図６　和太鼓奏者による演奏

図７　企業展示会場内でのウエルカム・レセプション

図８　基調講演会場

図９　Bouchard 会長による講演（質疑応答）

図 10　佐藤副大会長　挨拶（ガラディナー）

図 11　左から　境専務理事，今期の Christopher Luyong 研修生，藏内会長，Yoli Zulfanedi 研修生

図 12　左から　境専務理事と Woojae Choi 前期研修生

【別　記】

藏内勇夫会長挨拶

Thank you very much for warm introduction. I'm Dr. Isao Kurauchi, the president of Japan Veterinary Medical Association, JVMA.

I would like to express my sincere appreciation for the opening ceremony of The 30th World Buiatrics Congress 2018 Sapporo, on behalf of JVMA.

Hokkaido is the most northern area in Japan. And it is the most active dairy farming area in Japan. It is a great honor for JVMA that the first WBC in Asia is held here in Hokkaido, under the auspices of our member, The Japanese Society of Farm Animal Veterinary Medicine. I'm grateful to Prof. Dr. Bouchard, to Prof. Dr. Tajima, and to all other persons who contributed to host WBC 2018 Sapporo.

We believe and enhance this kind of international congress, as such event will facilitate updating new knowledge and acquisition of new techniques among Japanese veterinarians. JVMA have co-hosted the 2nd WVA-WMA Global Conference on One Health in Kitakyushu city, Fukuoka, in November 2016. We also promote collaboration with WVA and FAVA.

By the way, how would you guess how many cattle are kept, and how many large animal clinicians are working in limited land of Japan? The answers are, at the point of February 2018, there are one million three hundred twenty-eight thousand dairy cattle, and two million five hundred fourteen thousand beef cattle are kept in Japan. There are four thousand two hundred seventy livestock practitioners, which accounts for eleven percent of all veterinarians in Japan. I'd like to show this statistic for the participants of WBC 2018.

I would like to conclude my greeting with my best wishes for further development of WBC, for further development of buiatrics and related veterinary medicine in Asia.

挨拶の日本語訳

ただ今，紹介をいただいた日本獣医師会の会長を務めています藏内勇夫です．

本日，「第 30 回世界牛病学会 2018 札幌」のオープニング・セレモニーが挙行されますことに対し，日本獣医師会を代表して，心から感謝申し上げます．

北海道は，日本で最も北にあり，最も酪農が盛んな場所です．その北海道で，アジアで初めての世界牛病学会が開催されることは，主催者である日本産業動物獣医学会が所属する日本獣医師会にとりまして大変喜ばしく，ブシャール会長，田島組織委員長をはじめ，開催にご尽力いただいた関係者の皆様に厚くお礼申し上げます．

日本獣医師会では，獣医学術に関する国際会議の開催が，わが国の獣医師の知識，技術の向上につながるものと考えており，積極的に活動に取り組んでいます．2016 年 11 月　に「第 2 回 WVA-WMA "One Health" に関する国際会議」を福岡県北九州市で開催する等，WVA や FAVA の活動を中心に積極的に国際交流を推進しています．

ところで，国土が狭い日本において，何頭の牛が飼育され，何人の産業動物診療獣医師がいると思われますか．答えは，2018 年 2 月現在，日本では，乳牛は 132 万 8,000 頭，肉用牛は 251 万 4,000 頭が飼育されています．産業動物診療獣医師は 4,270 人で，獣医師全体の 11％に相当します．この数値は，本大会に出席された記念に皆さんの記憶にとどめておいてください．

挨拶の終わりに当たり，世界牛病学会の益々のご発展を祈念するとともに，本学会がアジア地域の牛病学及び関連する獣医学術の新たな進歩の契機となり，獣医学術の発展に貢献できることを期待し，私の挨拶といたします．